

「火の用心！」

江戸時代ごろの古いお話でございますが「風が吹くと桶屋が儲かる。」というお話がございまして、強い風が吹きますと、砂ほこりが舞うんでございます。当時は舗装道路などというものはございせん。砂ほこりが目に入る、眼を患う人が多くなります。目を患った人は三味線を弾きますもんですから、三味線というのは猫の皮を使うもんですね、猫が減ってしまいます。猫が減ってしまいますとネズミが増える。ネズミが悪さして、桶をかじってしまいますと桶が役に立たなくなって桶が売れて桶屋が儲かるというお話がございまして、思わぬことが原因で思わぬことが起こってしまうような意味なんでございますでしょうか。

かのハインリッヒさんが申されておりました、「1：29：300」。

1件の重大な事故の背景には29回の軽微な事故や災害があり、さらにその背景にはヒヤリ・ハッとするような、表面化しなかっただけで、不安定で危険だった事柄が300件あるということでございます。



皆様、一瞬「あら、これは危ないわ！」と思ったことを見逃さないで、その不安定要素を起こさない工夫をなさって、一つでも取り除いて下さいませ。299個にしてしまえば28個の軽微事故になって重大事故事件は起こらない!かもしれませんが、気が付きましたらどんどん改善したいものです。

■気をつけましょう！この季節

冬本番です。気温が下がり、空気が乾燥する冬は、怪我や感染症が増加する季節です。

今や、インフルエンザやコロナはビジネスの運営リスクのひとつとなりました。

特に労働集約型のテニスクラブはスタッフが集団感染すると業務が立ち行きません。

また事務所やスタッフルームなどのバックヤードは感染リスクが高い場所とも言えます。

多くのお客様やスタッフが利用する施設は感染リスクを抱えていることを認識し、できる限りの感染症予防をしましょう。

怪我也増える時期です。体操の工夫などの対応をしましょう。

～感染症対応～

1. 手洗い・うがい・検温の徹底

レッスン前後など、こまめな手洗い、うがいをしましょう。

また、スタッフルームなど、感染リスクの高い共用空



間では、休憩時、食事前後の手洗い、うがいの実施を徹底しましょう。

出勤前の検温を徹底し、発熱の症状がある場合は無理に出勤させないことも大事です。

2. 手指消毒

消毒液等の設置は継続されることをお勧めします。

こまめな消毒を習慣づけることで少しでも感染リスクを抑えましょう。



3. ノロウイルスに注意

冬はノロウイルスの感染も増えます。ノロウイルスは突然の嘔吐を伴う場合も多く、吐瀉物が感染源になりますので、施設内に処理セットを設置しておくことをお勧めします。

また冬の終わりにはロタウイルス



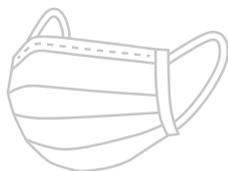
の流行も考えられます。通年での感染症の理解も必要です。

4. エチケットセットの設置

各コート周辺にエチケットセットを設置し、急な体調変化に対処できるようにしましょう。

【エチケットセット設置例】

プラスチックケース（設置用）、亜塩素酸ナトリウム薄め液を入れたボトル、マスク、ビニール手袋、キッチンペーパー、雑巾、タオル、嘔吐用エチケット袋（厚手の紙袋にビニール袋をかぶせたもの）



～怪我対応～

会員の高齢化が進んでおり、以前に比べ怪我が増えているように思います。

特に冬場は下肢（脚部）の怪我が増えます。怪我＝休会・退会だけではなく、高齢の方は、怪我＝人生におけるスポーツ機会の損失になってしまう場合があります。

出来得る限りの対応をしましょう。

1. 体操

レッスン開始時の体操は丁寧に正しい動作で行いましょう。

どの部位に効いているのかなどを意識しながら実施し、コーチが見本を見せましょう。

レッスン開始時はお客様とのコミュニケーションを取る時間でもありますが、話意識が行き、体操がおろそ

かにならないようにしましょう。

まずはコーチが正しい体操をすること。そしてコートに入っているコーチ全員が体操を実施することが重要です。

またレッスン終了時、まとめや連絡事項を伝えながらのストレッチの実施もお勧めします。

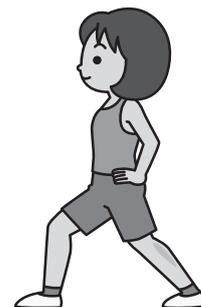


2. レッスン中もストレッチを

ドリルの待ち時間にもステップを踏むなど、筋肉が冷えないように指導しましょう。

次の順番で入るお客様には「～さん、次入ります。脚のストレッチをしておいてください」などの声がけをしましょう。

コート横にストレッチボードなどを置くのも良いかと思います。（角度をつけすぎないように注意）



3. 負荷の調整

コーチは、年齢や体力にあった負荷の調整をしましょう。

特に前後の動きでは、肉離れやアキレス腱断裂などの怪我が多く発生します。

急激な動きは極力避けるように注意をしましょう。

